



WORKSHOP ワークショップ

4/12 [水] - 16 [日]

4/19 [水] - 23 [日]

ATSUKO
TAKAIZUMI

演劇の中で、生活の中で“魅力ある人物”とはどういう人物をいうのでしょうか。“人の心を捉える人物”です。相手の心を捉えるには何が必要か。心を惹き付けるには何が必要か。シーンの中で、限られた場所で、限られた時間の中で、自分という人物が、心地よく、印象深く感じさせるにはどうしたらいいのか……。それは“その人にしかない身体と心を使って、その人にしかないニュアンスで、その人の生きた言葉が伝わった時”、なのだ、わたしは思います。

自分の中に潜んでいる魅力的な部分を探し出し、新たな要素を取り入れて、今の自分を仕立て直していく。自分だけにしか創れない、自分だからこそできる人物を探し出し、その人物を演じてみる。そして、誰にも真似のできない、個性で魅力的な人物を創りあげていきます。

今回は入門編ということで、こういった方法があることを知って頂き、自分を仕立て直すきっかけになってもらえたらと思います。そして最終的には自分の中に潜んでいる心惹かれる人物が仕上がっていければと思っています。

自分の中から魅力ある人物を引き出す方法

— for 舞台人

12日 [水] 13日 [木] 14日 [金] A12:00~16:00 B17:00~21:00 (初参加の方対象)

19日 [水] 20日 [木] 21日 [金] A12:00~16:30 (project team 17:00~)

聞き手の心に伝わる自分らしい話し方

— for 仕事人・生活人

15日 [土] 16日 [日] 23日 [日] 12:00 ~ 16:30

高泉淳子 Atsuko Takaizumi

役者、劇作家、演出家。早稲田大学卒業後 1983年に劇団「遊●機械 / 全自動シアター」を結成。少年少女から老人まで様々な人物を演じ人気を得る。2002年の劇団解散まで作品の劇作を務める。1989年からレストランの話を舞台にしてジャズの生演奏と伴に繰り広げる『アラカルト』は、芝居と音楽の新しいスタイルの作品として話題を呼び、28年の大ロングランとなる。2004年村上春樹の短編を舞台化した『エレファント・パニッシュ』のニューヨーク、パリ、ロンドン公演で世界的評価を得る。2008年からイラストレーター・宇野亜喜良の美術で“大人の寓話”を創作、演出。2009年由紀さおり40周年のステージを構成演出し、音楽界でも話題になる。著書『昭和演劇大全集』『高泉淳子仕事録』等。1991年『ラ・ヴィータ』で文化庁芸術祭賞、2009年『ア・ラ・カルト』でスポニチ文化芸術大賞、2013年『ホロヴィッツとの対話』(三谷幸喜作演出)、『ア・ラ・カルト2』で第21回読売演劇大賞優秀女優賞を受賞。

参加費 1日 ¥6,000

会場

SPACE ten

品川区西五反田 7-9-4

Tel. 03-3492-2638

五反田駅西口より徒歩5分。

桜田通りと山手通りの交差点

タリーズコーヒーの隣

参加希望者の方は遊機械オフィスにメールで、プロフィール、住所を記載の上お送りください。

✉ office@yu-kikai.com

主催：有限会社 遊機械オフィス

www.yu-kikai.com

atsuko.takaizumi.official



遊 機械
Space Development for your project
有限会社 遊機械オフィス